

# 21世紀生活圈研究会 試行的調査(舞鶴・京丹後・宮津地域)

---

近畿地方整備局

平成20年12月16日

# 1. 舞鶴・京丹後・宮津地域の位置づけ

## 舞鶴・京丹後・宮津地域の特徴

- ・丹後半島2市2町の長期的な人口減少
- ・天橋立、伊根の舟屋や点在する温泉等の豊かな観光資源
- ・京阪神大都市圏と北東アジア・ロシアとの結節点

## 舞鶴・京丹後・宮津地域の圏域の設定

京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町の丹後2市2町を検討の核としつつ、中丹3市(舞鶴市、綾部市、福知山市)、兵庫県豊岡市、福井県高浜町との関連を踏まえて検討。

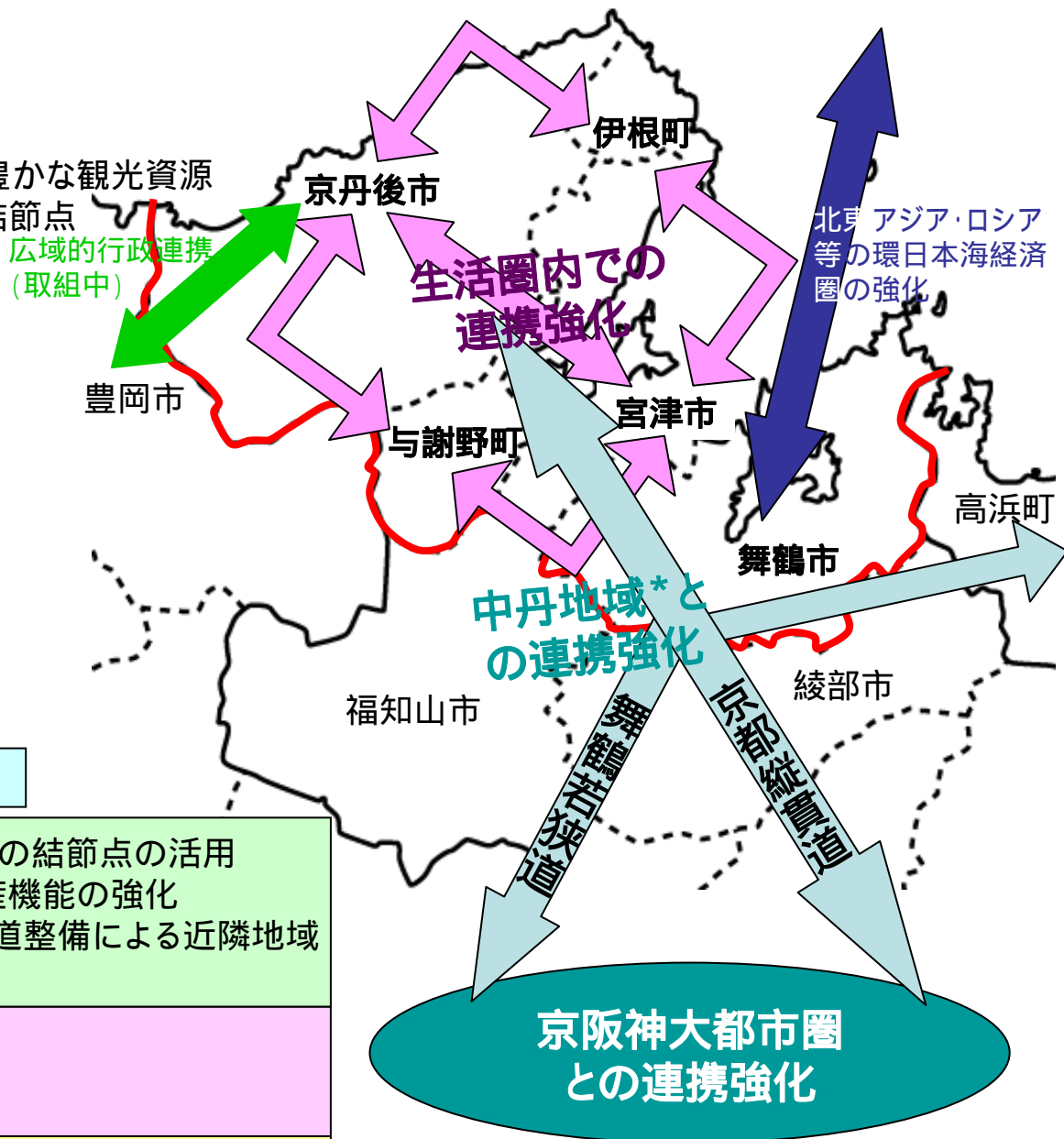
特に北東アジア・ロシアの玄関口として京都舞鶴港を位置づけ、隣接地域である2市2町を物流・生産機能の強化の観点から検討。

## 舞鶴・京丹後・宮津地域の検討の視点

- ・北東アジア・ロシアと京阪神大都市圏との結節点の活用
- ・舞鶴市とその周辺市町における物流・生産機能の強化
- ・京都縦貫道、舞鶴若狭道、鳥取豊岡宮津道整備による近隣地域と京阪神大都市圏との関係強化

- ・地域産業の活性化
- ・丹後観光圏の指定による観光活性化
- ・農商工観連携による地域内循環の再生

- ・生活機能の維持・確保

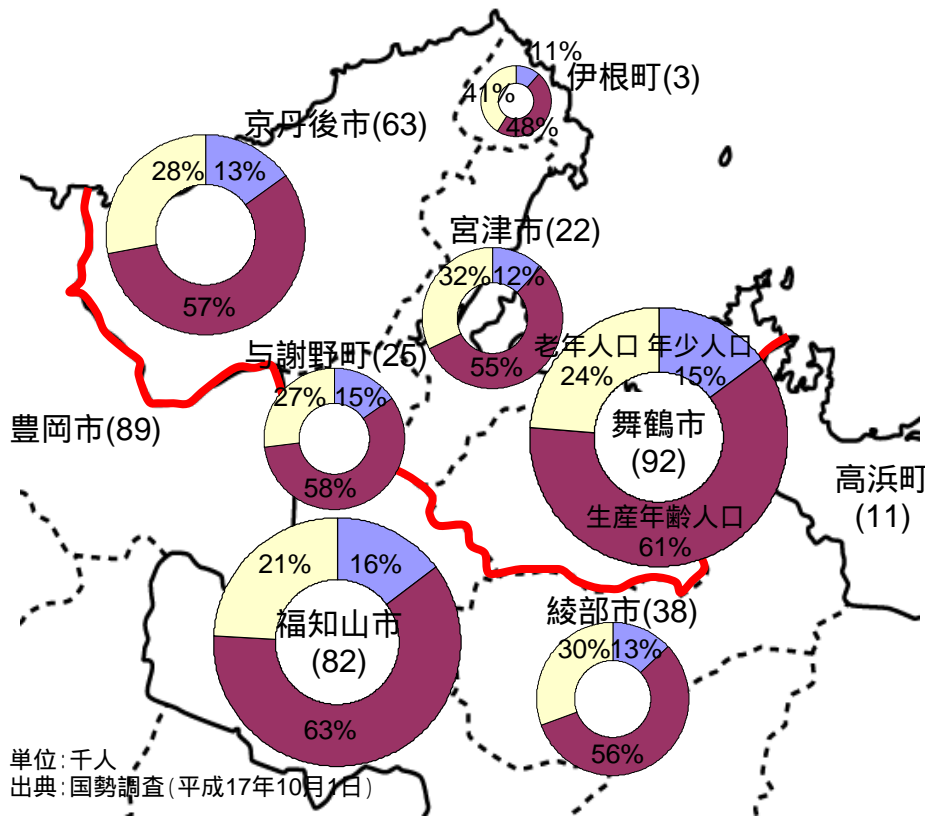


\* 中丹地域: 舞鶴市、綾部市、福知山市の3市

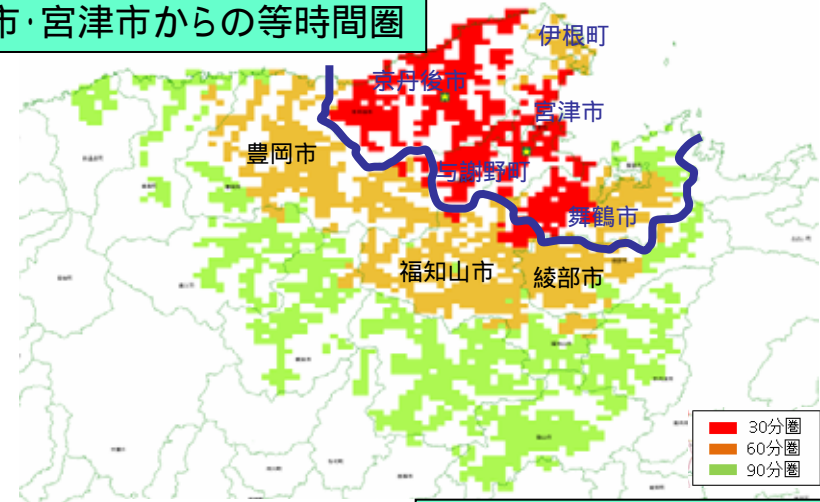
## 2. 舞鶴・京丹後・宮津地域の人口・等時間圏

- ・舞鶴 + 京丹後 + 宮津 + 与謝野 + 伊根: **20.4万人**、1182.3km<sup>2</sup>
- ・5市町の人口は、**昭和20年代後半の25万人余をピークに2割減少**し、四半世紀後にはさらに2割減少と予測
- ・京丹後市は6町合併により誕生したが、**丹後半島2市2町は分散化した都市構造**
- ・京丹後市まで車で京都市から2時間20分、大阪市から2時間50分

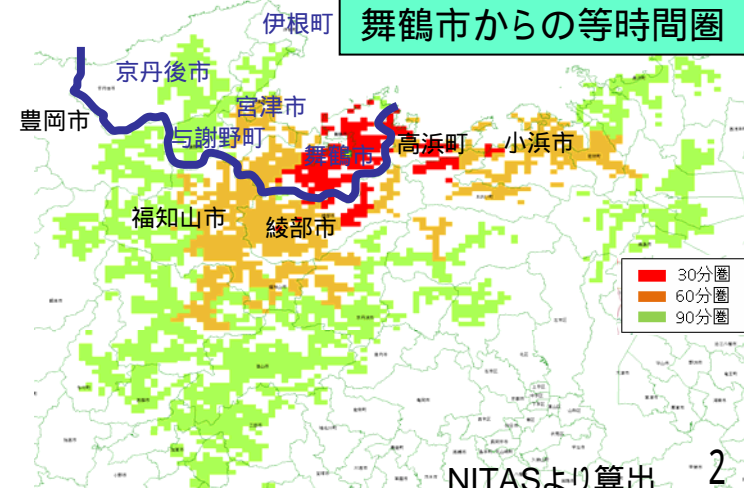
舞鶴・京丹後・宮津地域の人口とその構成



京丹後市・宮津市からの等時間圏



舞鶴市からの等時間圏



京丹後市 : 峰山町 大宮町 網野町 丹後町 弥栄町 久美浜町 が合併(H16.4.1)  
 与謝野町 : 加悦町 岩滝町 野田川町 が合併(H18.3.1)  
 福知山市 : 三和町 夜久野町 大江町 を編入(H18.1.1)

# 3. 舞鶴・京丹後・宮津地域における人流構造

・宮津市と与謝野町、伊根町との結びつきが強いが、それ以外の市町村間の結びつきはさほど強くない。

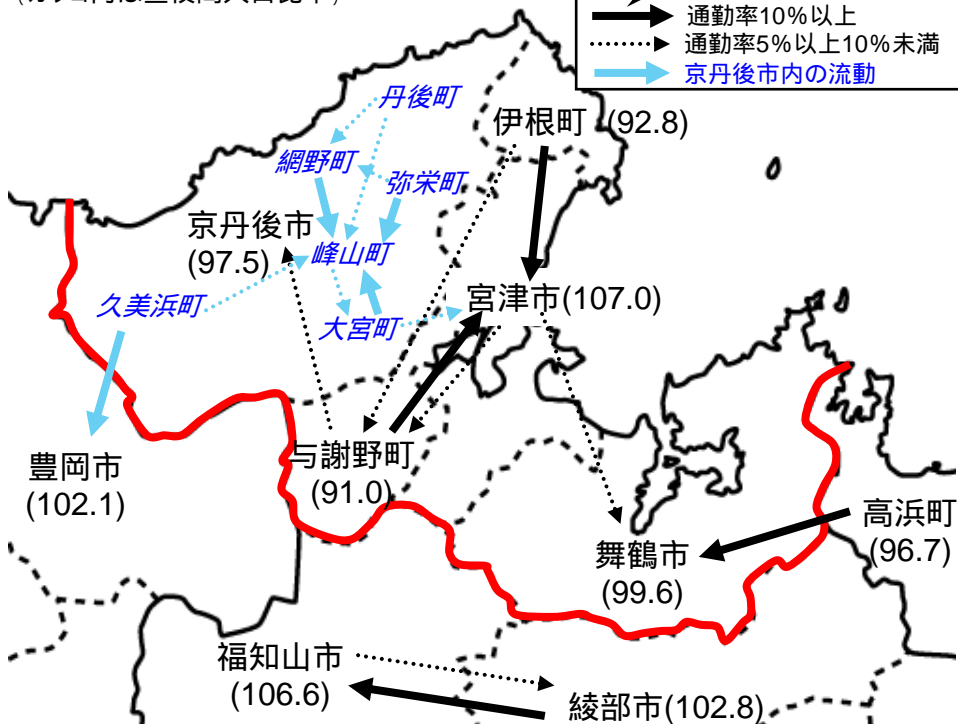
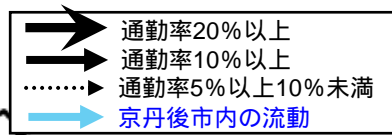
市町村間の流動が小さいのは交通ネットワークの弱さに起因？

・京丹後市の合併前の単位で見ると、旧峰山町の中心性が高い。

## 通勤の状況

(カッコ内は昼夜間人口比率)

資料データ:平成17年国勢調査  
(京丹後市内の流動は平成12年国勢調査)

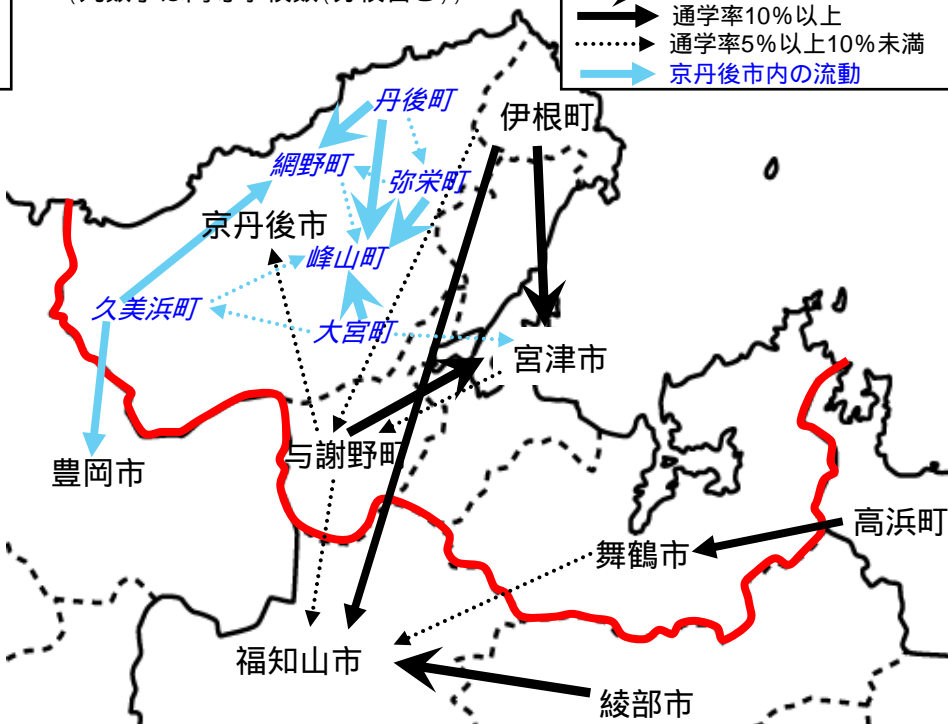
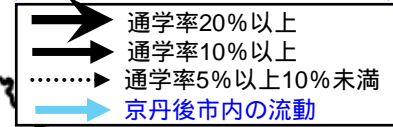


通勤率 = (自市町村から各市町村への通勤数) / (自市町村全体の通勤者数)  
通勤率が5%以上のものに限る。

## 通学の状況

(丸数字は高等学校数(分校含む))

資料データ:平成17年国勢調査  
(通学者は15歳以上が対象)  
(京丹後市内の流動は平成12年国勢調査)



通学率 = (自市町村から各市町村への通学数) / (自市町村全体の通学者数)  
通学率が5%以上のものに限る。

# 4. 舞鶴・京丹後・宮津地域の商業の現状と課題

・平成以降は、周辺各市や郊外地域への出店が顕著となり、京丹後市、宮津市、舞鶴市をはじめ周辺各市にも1万<sup>2</sup>を超える大型店が出店し、**各都市が競合する商業環境が形成**。

## 福知山市都市整備部

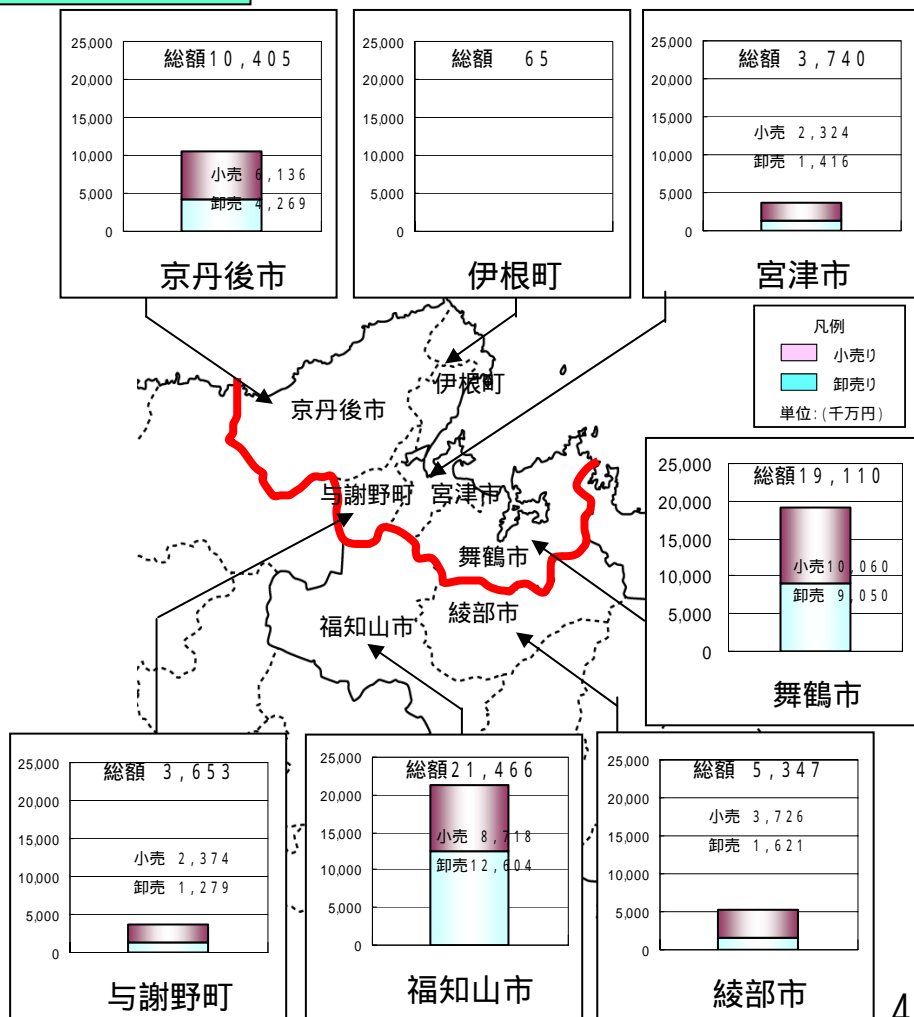
- ・大規模なショッピングセンターができて周辺市町から買い物客の流入が見られる。
- ・その一方で縦横に張り巡らされた**駅周辺の商店街の衰退は一層著しいもの**となった。

## 久美浜1区まちづくり協議会

- ・旧久美浜町の生活の中心地は豊岡市で、京丹後市の他の旧町とは違う**生活行動圏**となっている。
- ・久美浜には、働き場所がなく、いい大学を出ても、その能力を発揮する場所がない(市内の高校卒業後、市内に留まるのは1割弱)。豪商稲葉本家を核とした観光地域づくりによる活性化を目指している。

## 商品販売額

丸数字は店舗面積が4,000m<sup>2</sup>以上のショッピングセンターの数  
資料データ:京都市統計課商業統計調査(平成16年)



旧久美浜町庁舎(協議会事務所)



豪商稲葉本家(京丹後市久美浜町)

代々靴屋を生業とし、日本海沿岸交易業等も営み享保年間に幕府の公金預かり所となり近隣諸藩の金融を独占した豪商



# 5. 舞鶴・京丹後・宮津地域の工業の現状と課題

・京丹後市では長らく縮緬産業が中心だったが、近年は自動車・オートバイ関連の企業が立地し、「**輸送用機械**」が製造品出荷額の3割を占める。

## 福知山市都市整備部

- ・長田野工業団地には400haの敷地に41社もの企業が立地し、**6000人以上** (市の就業者数の約15%に相当) の雇用を創出。
- ・その一方で敷地内に未利用地がほとんど無い企業があり、そのような企業が今後施設の一斉更新を行う場合には**工場移転の懸念**。

## 丹後ちりめん織元 田勇機業(株)

(H8に京都府中小企業モデル工場に指定)

- ・JAPANブランド育成支援事業(経産省)を受け、海外市場の開拓と日本の伝統文化の普及を目的に、H20年2月にパリで開催した「JAPANブランド・丹後テキスタイル展2008」に参加等、積極的に新たなビジネスの開発を進めている。

整備が進む京都舞鶴港(和田埠頭完成予想図)



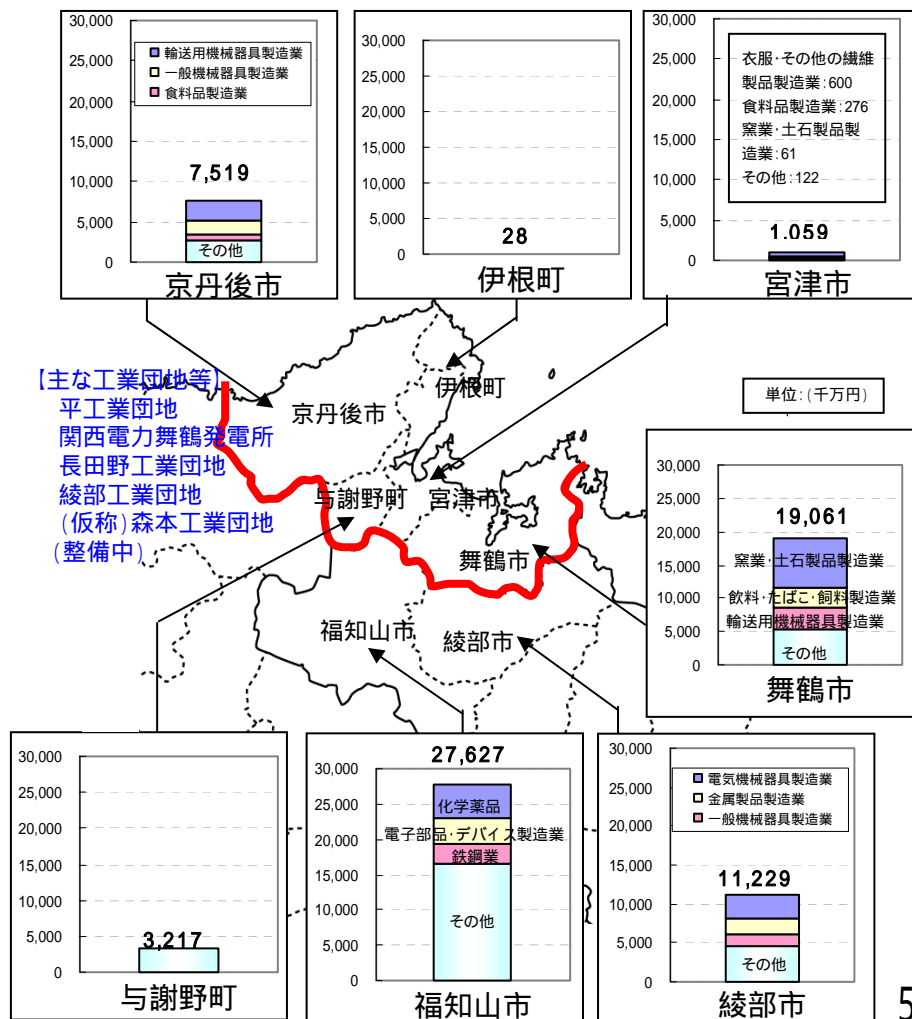
出典: 舞鶴港振興会ホームページ

縮緬工場の様子



## 製造品出荷額

資料データ: 京都府統計課工業統計調査(平成18年)

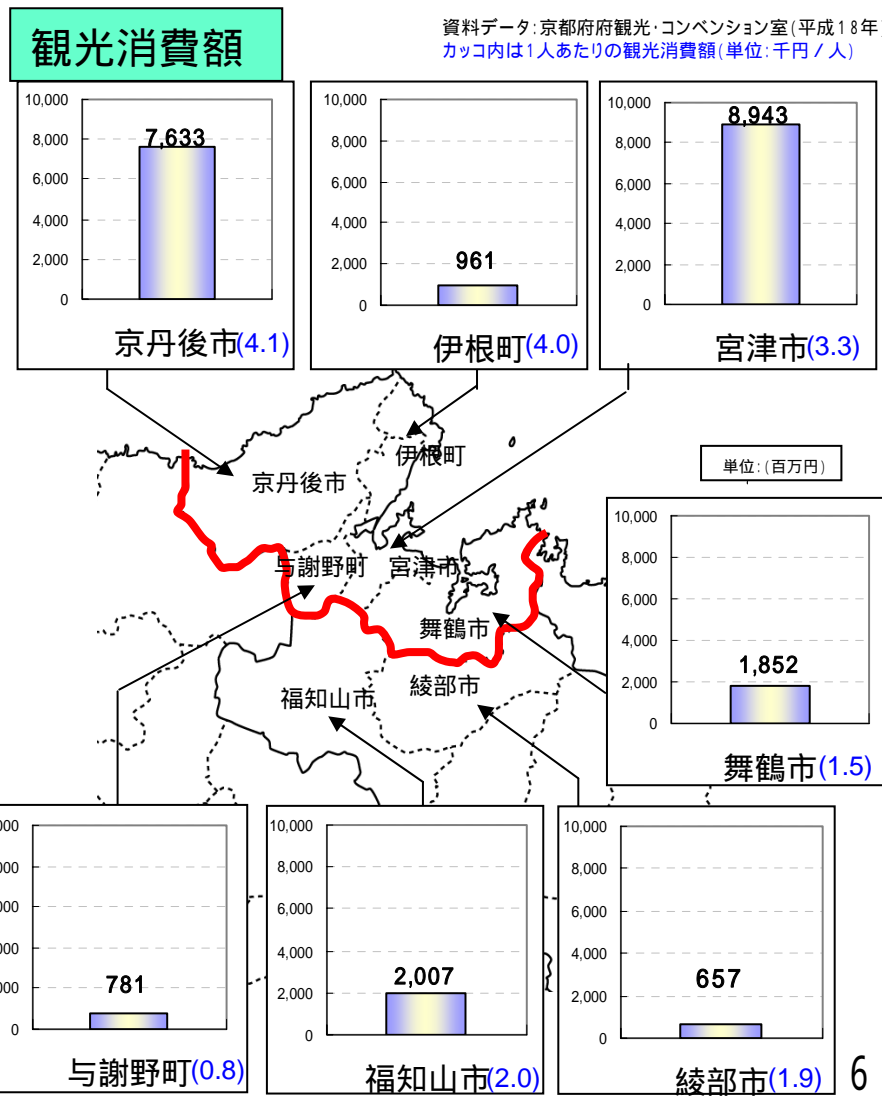


# 6. 舞鶴・京丹後・宮津地域の観光の現状と課題

・多くの市町で1人あたりの観光消費額が京都府内市町(京都市除く)の平均(1.9千円/人)と同程度以上であるが、京都市(13.2千円/人)を大きく下回っている。

NPO全国まちづくりサポートセンター丹後支所  
 ・ブランドとなった間人ガニを食べるために中京圏や関東圏からの観光客が増えているが、京都・大阪からの交通の便が悪いため、なかなかリピータとなってもらえない。  
 ・観光圏整備計画に認定されたこともあり、今後より積極的に観光振興を進めていきたい。

舞鶴市建設部  
 ・複眼都市の特徴を活かした「一都二彩」のまちづくりを進めている。  
 ・煉瓦建造物の保存・再活用においては「NPO赤煉瓦倶楽部・舞鶴」などの市民の取組により行われている。赤煉瓦カフェも民間運営に移行してから客数が増加。



西舞鶴: 田辺城城門(左)と彰古館(右奥)  
 (天正年間以来の城下町)



東舞鶴: 赤れんが倉庫群(旧海軍兵器廠倉庫)



# 7. 舞鶴・京丹後・宮津地域の農業の現状と課題

・農業については、年々農家数の減少が続いており、農業粗生産額も大きな減少がみられる。主な生産品目は米で、京丹後市では粗生産額全体の半分弱を占めている。

【京丹後産品のブランド化の例】

- ・丹後のコシヒカリ(西日本唯一の最高位の評価)
- ・京たんご梨(高糖度・高品質に定評)

京丹後市丹後町上山地区

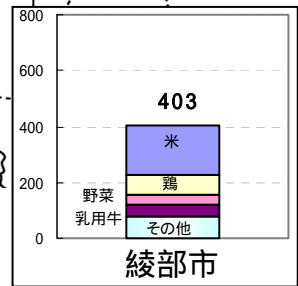
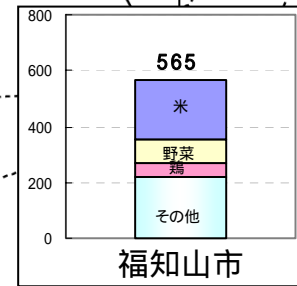
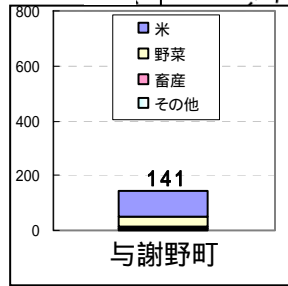
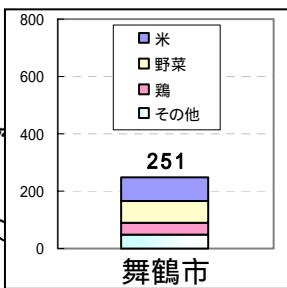
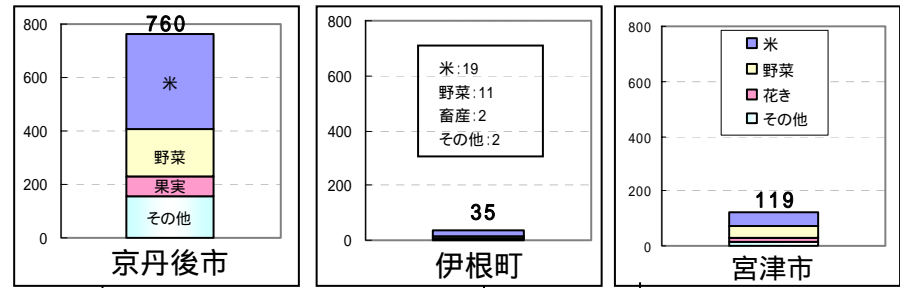
- ・上山地区は5軒12名の集落。山の中であるが海岸線まで車で10分程度なので**生活の不便さを感じていない**。
- ・近年、キツネが少なくなったことにより田畑を荒らす猪・鹿・猿が増えた。以前の生態系に戻すことは個々人でできる問題ではない。
- ・生活に必要な「水」は、わき水を使用しているが大腸菌が含まれている。こうした配水設備も集落では大事である。
- ・魅力ある村づくりのためには道路整備や除雪ではなく「人」を受け入れる体制が必要。

上山地区の様子(京丹後市丹後町)



## 農業産出額

資料データ:京都市農林水産統計年報(平成17年)





# 8. 地域が目指すべき方向性

## 舞鶴・宮津・京丹後地域の課題の整理

### SWOT分析(試案)

#### 強み

京阪神大都市圏の日帰り圏  
 京都舞鶴港に立地する工場群  
 天橋立、伊根の舟屋や点在する温泉等  
 の豊かな観光資源  
 間人ガニ、丹後コシヒカリなどの京丹後ブランド  
 赤れんが倉庫群などの観光資源

#### 弱み

圏域全体として長期的な人口減少  
 丹後地域の地場産業(農漁業、繊維産業、商業)の不振  
 伸び悩む観光入込客数  
 山がちで狭い低平地面積  
 圏内の脆弱な交通基盤  
 都市圏としての繋がりが希薄  
 冬季の積雪における財政的な負担

#### 機会

京都縦貫道、舞鶴若狭道、鳥取豊岡宮津道整備による物流、人流の利便性強化  
 北東アジア、ロシアの高い経済成長に対する期待  
 京都舞鶴港の整備  
 丹後観光圏の指定

#### 脅威

引き続き予測される人口減少と高齢化の進展による生産年齢人口の急激な減少  
 自治体財政の悪化の懸念

舞鶴市の特徴  
 丹後2市2町の特徴



### 【舞鶴・京丹後・宮津地域が目指すべき姿】

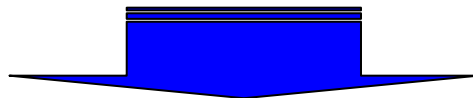
- ・京都舞鶴港を活用した物流・生産機能の強化
- ・商農工観連携による圏域循環の再生
- ・圏域のほぼ全域にわたり必要な生活機能の確保



## 9. 仮説の立案と検証

【舞鶴・京丹後・宮津地域が目指すべき姿】

- ・京都舞鶴港を活用した物流・生産機能の強化
- ・農商工観連携による圏域循環の再生
- ・圏域のほぼ全域にわたり必要な生活機能の確保



京都舞鶴港の整備、京都縦貫道等の高規格道路の整備等により、流通が改善されれば、工場の立地が進み、物流拠点も充実・強化されるのではないかと？

- ・現在の京都舞鶴港の物流量と流れの状況
- ・現在の地域の製造・加工品の出荷状況
- ・京都舞鶴港を利用してもらうターゲット、そのための条件
- ・京丹後市に物流・生産機能が集積するための条件

鳥取豊岡宮津道等の整備により、圏域内の移動の利便性が向上すれば、地場産業を活かした地域の活性化が図られるのではないかと？

- ・現在の圏域内の移動の状況(農商工観)
- ・圏域外からの移動の状況(農商工)
- ・舞鶴、京丹後、宮津それぞれが持つ長所と短所を補完しあうための条件
- ・競合する他の観光地と互角以上に渡り合うために必要な条件

府県境をまたぐ市町間の連携により、生活機能の役割分担とネットワーク化が進めば、圏域のほぼ全域にわたり必要な生活機能が確保できるのではないかと？

- ・現在の生活機能の立地と利用状況
- ・役割分担とネットワーク化によるサービスの維持・向上の見込み